

---

# 起動戦士 ガンダムAS

ガンガン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

起動戦士 ガンダムAS

### 【Nコード】

N2131F

### 【作者名】

ガンガン

### 【あらすじ】

宇宙新世紀、9771。世界は、アージスト（アメリカ）によって、征服されてしまった……。そのアージストは、今度は地球、その物を自分の物とする為に動いていた。それを止めるために反アージスト組織セントブルグもまた動き出す。

## プロローグ：はじめは・・・

宇宙新世紀、9771。世界各国で、アフタ - 88 - 2Dと言うエネルギーシステムの開発に取り組んでいた。

そのアフターをいち早く開発した国、アージスト（アメリカ）は全世界に向かつて、MSによる大襲撃をおこなった。その被害は、予想以上で死者が415633人で重症者が123319人という数字となった。

これにより、アージストは世界の主権を自分の物とし、世界征服を成功させた・・・。

それから3年・・・。アージストに征服された世界では、アージストの考えに逆らう者は殺され、世界の人々は自らアージスト人と名乗るように命令された。

逆らえば殺されるため、人々のほとんどがアージスト人となったのだ・・・。

そして、また一年・・・。

アージストの大統領、ルーバック・シムト口は地球その物をアージストにすると言う、信じられないことを実行しようとした・・・。

このことを後に【地球66作戦】と言う。

これに猛反発をした人々は、密かに反アージスト組織、センドブルグと名乗りアージストに攻撃をしかけた。

だがアージストのアフターを投入したMS、MASモビルアフター・スーツによつて、あつけなく敗北した・・・。

これによりアージストに逆らう者はいなくなり、【地球66作戦】は実行されていった。

自然は次々と無くなり、人口による食べ物の開発も成功し、動物達も殺され姿を消していった・・・。

次第に、人々はこの世界に慣れていき、このことが普通の世界になろうとしていった。

そんな中、反アージスト組織センドブルグの生き残り達は、この世界を 元に戻す 為に着々と計画を立てていた・・・。

元に戻す為に・・・。。。

## 第一話：弱肉強食（前書き）

ってことで、本編がはじまるんで、つまらんかも知れませんがどうか、どうか、どうか、よろしくお願いします。

## 第一話：弱肉強食

「われらアージストは、世界を手にしたこの力で・・・地球その物をアージストの物にすることを実行しようと思う。いや、実行する。これにより、地球は地球と言う名前を捨て、アージストとなるのだ！その為には残り8%、残った土地を手に入れてアージストの物にする。これで完全に地球全ての土地を手にしたことになり、地球はアージストとなることになる。手にした時は、あらゆることに、MS研究施設を造りあげてアージストの戦力を上げる！より強い、MSが完成した時には宇宙にあるいくつものコロニーを襲撃し、そして、そこもアージストの物にして、後、宇宙はアージストの物に・・・。。これによって宇宙は宇宙と言う名を捨てアージストとなるのだつ！！不可能とされた、宇宙征服は何十年後には、成功されるのであるだろう。この計画成功の為には、国民の手助けもいるであろう。ということ、MSのパイロットを募集することにしたつ！理由のひとつは、MSの量産のし過ぎで我らの軍人だけでは、パイロットが足りないからである。なので、国民の力を借りたいのだ！！ただし、パイロットになる条件は・・・、MS訓練研修を3ヶ月行ってもらおう。詳しいことは、研修所で・・・説明する。では、以上。」

アージストの大統領による、アージストの後の計画発表は全世界へデータ送信された。このいきなりの計画発表を聞いた国民達は、少しの恐怖を感じていた・・・。「コロニーを襲撃」この言葉から、また戦争が起きてしまう・・・、アージストのアフターを投入したMSが何千機も攻めてきたら、たとえどんな戦力をもったコロニーであっても、ひとたまりも無いだろう。というか、コロニーの人達はアージストのことを知っているのか？もし、知って無いのなら、それこそ・・・。そんな、疑問も国民の頭によぎっ

たであるう。

「また、アージストは馬鹿なことをしだしたな……。ミハエル、お前はどう思う？」

金髪の男性、ロック・シードネルがミハエルと言う名の少年に、問いかけた。

「ほんとに馬鹿なことだ……。こんなのおかしすぎる。アージストがどの国よりもやくアフターを作り出しただけで、こんなことに……。あいつらは、調子になって世界征服なんてしやがって。この世はもう、弱肉強食だ……。」

この言葉から、寂しさと怒りが伝わった。ミハエルは、この時に起きた、アージストと他国による戦争で親を亡くしている。寂しさと怒りの理由は、きっとそこにある。

「たしかにこの世は、弱肉強食の世界だよ……。強い者が弱い者を倒しその縄張りを強い者が奪い、それを繰り返して……。」

強い者⇨アージストは、弱い者⇨他国を倒し、その所有地を手に入れてそれを繰り返し、アージストは世界を手に入れた。アージストの勝因は、エネルギーシステム「アフター」を開発したことだ。アフターは、現代技では開発に240年かかると言われていたが、アージストは、なんと4年で作り上げたのだ。なぜこんな短期間で開発できたのかは、不明である。（アージストもこのことを隠している）

「……。ほんと狂ってる、こ……」      ホオーン      ホオーン

ミハエルの話の途中で急に緊急避難サイレンが鳴り出した。

「緊急避難、緊急避難。今すぐ避難してください。」

このサイレンにより、ミハエル達の周囲にいた人は皆、思いっきり走り出した。

その時、銃声と悲鳴が同時に聞こえてきた。

「ちっ、アージストの奴らかよ。ここまで追ってくるとは……。」

「このロツクの言葉も、銃声、悲鳴でよく聞こえない。」

ロツクが建物の中に急いで入り、そつと外を覗きこむと……そこには、蒼いMSが6体ぐらい確認できた。

だが、まだこの銃声から、もう何体かいるとロツクは推測した。

「ミハエル！急いでこいっ！！見つかったら終わりだぞっ。」

ミハエルも急いでロツクのいる建物の中に入った……。

その瞬間、蒼いMSから大きな声が聞こえた。

「反アージスト組織、センドブルグの副隊長、ロツク・シードネルと特別襲撃隊、兵長のミハエル・リバーズ！さっさと出て来い。もしこの忠告を聞いても出てこない場合は、ここにいる奴ら全員を無差別にぶっ殺すぞっ！」

この驚きの発言に……、

「そこまですんのかよ……。」

続く

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2131f/>

---

起動戦士 ガンダムAS

2010年10月28日03時20分発行